

## ● 草の根パートナー型

### パートナー型フォローアップ案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	ケニア
2. 事業名	コミュニティ・ヘルス・ワーカーによる遠隔地での母子保健サービス向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	HANDSは2005年からケリチョー県において、母親（妊娠期～産後期）と乳幼児に対する保健医療サービス（継続的ケア）の改善に取り組んできた。その結果、事業実施地域の全保健医療施設で分娩が可能となり、また生後6カ月間の完全母乳育児を行う母親が増加する等の成果が表れている。しかし保健医療施設から遠い地域（遠隔地）の住民に対する保健医療サービスについては課題が残されている。そこで、ケニア公衆衛生省が全国的に推進しているコミュニティ・ヘルス戦略に基づき、遠隔地まで母子保健サービスが行き届くようなモデルの構築と、母子の健康改善を目指して、本事業が計画された。
4. プロジェクト目標	母子保健医療サービスのアウトリーチ活動モデルが確立する。
5. 対象地域	ケリチョー県ソイン郡（パイロットエリア）、及び先行事業実施4郡
6. 受益者層（ターゲットグループ）	パイロット地域のコミュニティ・ヘルス・ワーカー80名（予定）、先行事業実施地域の保健医療スタッフ約20名、妊産婦・新生児約5,020名、住民約61,230名
7. 期待される成果及び活動	<p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パイロットエリアにおいて、コミュニティ・ユニットの体制が整い、コミュニティ・ヘルス・ワーカー（CHW）がアウトリーチ活動について理解している。</li> <li>2. パイロットエリアにおいて、CHWによるアウトリーチ活動が軌道に乗る。</li> <li>3. パイロットエリアにおいて、コミュニティ・ヘルス・エクステンション・ワーカー（CHEW）／県保健局によるモニタリング・フィードバックの体制が確立される。</li> <li>4. パイロットエリア以外の地域でのコミュニティ・ヘルス戦略の展開に向けた準備がなされる。</li> </ol> <p>&lt;主な活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) CHEWを選出及び任命する</li> <li>(2) CHWを選出及び任命する</li> <li>(3) CHWへの研修を実施する</li> <li>(4) CHWが担当する地域の家庭を毎月訪問し、コミュニティ活動を実施する</li> <li>(5) CHEWが定期的にCHWをモニタリングする</li> <li>(6) 本提案事業の実績を基に、県保健局が今後のコミュニティ・ヘルス戦略の展開に向けた検討を行う</li> </ol>
8. 実施期間	2012年2月～2014年1月（2年）
9. 事業費概算額	28,534千円
10. 事業の実施体制	日本人プロジェクトマネージャー（1名）の全体統括のもと、現地業務調整員（日本人）及びコミュニティ担当者（ケニア人）、さらに県保健局運営委員会からの出向者（1名）をテクニカルマネージャーとし、協働していく。また日本人短期専門家として現地調査・評価（1名）を派遣する。HANDS東京本部では本プロジェクト担当の国内業務調整員（1名）が中心となり、団体外の技術アドバイザーの助言も得ながら現地での活動を支援する。
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名	特定非営利活動法人 Health and Development Service (HANDS)
活動内容	「保健医療と持続可能な開発」を切り口とした包括的な国際技術協力を通じて、平和で豊かな地球市民社会の実現に貢献することを目的に、平成12年1月に設立。平成13年3月に特定非営利活動法人格取得。幅広い分野の専門的知識を有し、明確な戦略と高いマネジメント能力を持つ人材の供給を通じて、質の高い技術協力の提供を行い、明瞭な説明責任を果たすと共に、市民の手による責任ある国際協力の実施体制を充実させることを目指した活動を展開している。